

# 第 128 回日本医学放射線学会北日本地方会

## 春季世話人会 議事録

日時：平成 25 年 6 月 14 日(金) 13:00～13:30

場所：朱鷺メッセ 小会議室 303+304

出席者：青木昌彦、青山英史、有賀久哲、石井清、今井茂樹、江口真里子、江原茂、小川芳弘、小野修一、木村元政、古泉直也、宍戸文男、神宮啓一、高井良尋、高瀬圭、高橋康二（代 山田有則）、高橋聡、高橋昭喜、竹川鉦一、武田賢、玉木長良、中里龍彦、畠中正光、晴山雅人、福田寛、細矢貴亮、吉村宣彦  
(敬称略、五十音順)

### 議事録

#### 議題

##### 1. 当番世話人挨拶

第 128 回日本医学放射線学会北日本地方会、第 73 回日本核医学会北日本地方会の当番世話人である青山世話人より挨拶があった。

##### 2. 前回議事録確認

前回議事録が承認された

##### 3. 報告事項

###### 1) 理事会動向

(江原世話人)

専門医制度の研修指導者認定証が 2 回目の更新時期を迎えた。専門医研修施設の更新にあたっては一部施設で指導医の定年退職等により基準を満たしていないものの今回限りという条件で認定された施設があった。

国立病院の放射線診断部会にて研修施設の全体データを作成予定。

造影剤ガイドラインの英文を JJR 誌に掲載予定である。

NHK で 2013 年 3 月 29 日にがん検診にて医師立ち会いの無いままに X 線撮影をしている問題が取り上げられていた。これは医師法違反であり今後取扱いを検討する必要がある。放射線を使った検査は医師の指示が無ければ施行できない原則であるが、検診にて胸部単純写真や胃の透視が行われている現状は問題である。

(玉木世話人)

今後の日程について。

2013 年 10 月 12 日－14 日秋季大会（名古屋。愛知医科大学 石口先生主幹）、2014 年 4 月 10 日－13 日総会（横浜。岡山大学 金澤先生主幹）、2014 年 9 月 26 日－28 日秋季大会（神戸。AOCR と合同開催）。

2015 年の秋季大会は岩手医科大学 江原先生主幹（10 月 2 日－4 日盛岡）、2016 年の総会は北海道大学 玉木先生主幹。

2013年8月23日－24日専門医試験。

2) 各種委員会報告

特になし

3) 第129回秋季地方会案内(仙台市立病院・石井清世話人)

石井清世話人より、平成25年10月4日(金)～5日(土)仙台市長陵会館にて行うことが報告された。市中病院からも奮って参加いただけるよう教育講演も行う予定である。

4) 第130回春季地方会案内(福島医科大学・宍戸文男世話人)

宍戸文男世話人より、平成26年6月28日(土)コラッセふくしまにて1日開催で行うことが報告された。

5) その他

高井世話人より、2013年10月18日－20日青森にてJASTROが開催される旨報告があった(高井先生主幹)。

4. 協議事項

1) 第131回秋季地方会当番世話人について

高橋昭喜世話人より、東北大学 神宮啓一世話人が推挙され承認された。

2) 第132回春季地方会当番世話人について

秋田大学 橋本学世話人が推挙され承認された。

3) 世話人推薦

角原紀義世話人より、盛岡赤十字病院放射線科の新部長 阿部知博先生が推挙され承認された。

4) 平成25年度事業計画

今年度の事業計画は次の通りであることが報告された。

《定期学術集会》

・春季：新潟大学 青山英史世話人

平成25年6月14日(金) 新潟 朱鷺メッセ

・秋季：仙台市立病院 石井 清世話人

平成25年10月4日(金)～5日(土) 仙台 長陵会館

《セミナー》

第2回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー

平成25年6月15日(土)

新潟 新潟大学 駅南キャンパス 「ときめいと」

共催：バイエル薬品株式会社

5) 収支報告

高橋昭喜世話人より、平成24年度の収支について日医放本部より特に指摘なく承認された旨報告があった。

6) 名誉会員認定について

該当なし

7) 世話人会退会希望について

角原紀義先生、宮崎知保子先生より世話人会退会の申し出があり了承された。

## 5. その他

- 1) 今回の地方会の演題受付において、デビュー発表希望者の見落としがあった件について

青山世話人より、今回の演題受付の際に一部デビューセッションであることのチェック漏れが生じた旨説明があった。今後は発表者の名前にアスタリスクをつける形では無く、「デビュー」とはつきり明記し演題申込みをするよう統一願いたいと提案があり、今後は提案の通りの形式で申し込むこととした。

- 2) 今後の北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー開催について

今回の第2回の開催報告があった。今回は当初参加申し込みが少なく、他研究会との重複や新潟へアクセスが遠い地区からの申し込みが少なかったが、最終的に22名の参加申し込みがあった。東北大、福島医大関係の参加者が相対的に多くなったが、今回設定した30名に満たないため旅費補助は全員に行わせていただいた。今回は Case based study の成績優秀者に 5000 円の図書券を商品として贈る。

ポリクリの関係もあり、他科を回っている学生を連れてくるのが今回はやや難しかった（山田先生（旭川））

開催時期、場所および方法については今後検討する必要がある。セミナーの継続自体の是非もお伺いしたい。春の地方会に合わせる利点としては進路決定前の医師を勧誘する目的にかなうことがあるが、交通アクセスの関係から開催場所によっては参加者集めに影響があるかもしれない。秋の地方会併催とすると仙台なのでアクセスは良いが研修医の進路決定後の時期となってしまう可能性が高い。また、各地区で開催することで各開催地区の医学生・研修医を多く参加させる効果がなくなる欠点がある。札幌、仙台の交互開催もあるが地方会との併催をどうするかも検討する必要がある、次回世話人会までに各大学にご意見を伺う予定である。第1回のセミナー参加者の中で入局希望者は数名いるようだが、今後セミナー参加者からの実際の入局者の調査をして効果を評価したい。（高瀬世話人）

- 3) その他

特になし